

その「物語」、の物語。

“ペログリ”的複眼思考の味わい vol.142

a taste of Yassy

田中 康夫

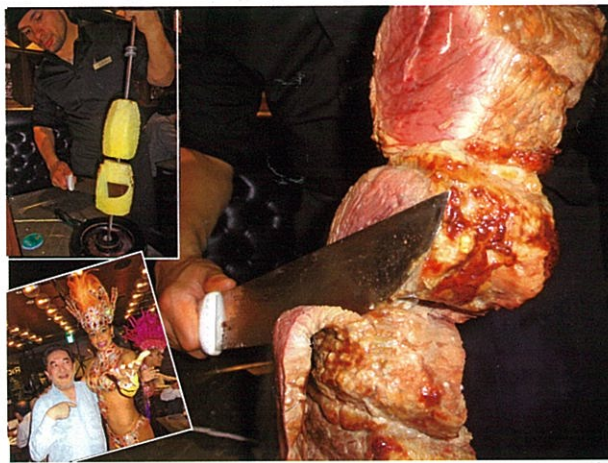


たなかやすお ● 56年東京生まれ、作家。'00年より長野県知事を2期務める。'07年に参議院議員に当選。'09年に衆議院議員に当選、1期務める。『文藝』（河出書房新社）2013年冬季号から17年ぶりに小説の連載を開始。【公式ブログ】<http://www.nippon-dream.com/>



陽気な前向きさに、刺激と元気を 与えられるブラジル料理店

今週の逸品



シュラスコディナービュッフェ 4500円 2時間

シュラスコ10種・サラダバー30種・ドリンクバーの土日祝ランチタイムは3300円。小学生1600円。就学前800円。ワインも充実の晚餐は3000円で飲み放題。ラモス瑞穂氏がばら配慮を規定。猫、僕のブラジル訪問時の発言等は上記HPでリンク表示。

【Rio Grande Grill】東京都港区六本木6-6-9ピラミデビル1F ☎03-5413-5851 営業日11:30~15:00(LO14:00)、18:00~23:00(LO22:00)、日祭日12:00~15:30(LO14:30)、17:30~22:30(LO21:30) 禁煙 無休

illustration by Hajime Anzai



サンパウロで開催の長野県人会45周年記念式典に出席すべくブラジルを訪れたのは10年前の2004年11月。ロシア・インド・中国・南アフリカと並んで経済発展目覚ましき5ヶ国がBRICsと呼ばれ始めた時期です。

1924年11月大正13年に92家族が入植し、牧畜・養鶏・果樹・ゴム等の飼育・栽培が行われるアリアンサにも足を伸ばしました。サンパウロ北西600km。緑組みや連合、和親を意味する開拓地です。信濃海外協力会なる組織が移住

を奨励するも、全国最多の満蒙移民で国家に貢献と『県史』で謳う満蒙開拓団の辛酸と同様、片道切符での送りに過ぎませんでした。キリスト教系組織・日本力合会の永田稔、輪湖俊午郎の両氏、更に「耕し、折り、芸術」する共同体・ユバ農場を創設した弓場勇氏らの奮迅奮闘で、山国出身者に留まらず有意にして有為な人々を日本から分け隔て無く受け入れる楽園を希求する地となります。

翻って21世紀初頭、20万人を超えるブラジルからの人々が日本働き・暮らし、長野県にも2万人のブラジル国籍者が諏訪・上田・松本等に在住。が、義務教育年限の4人に1人は未就学でした。言語の壁を取り払い、修学を促進すべく、通訳のチューターを複数校に配置。本来の学区を越えて当該校で学べるようにし、ポルトガル語で教える無認可の幼稚園・保育園も雇用企業の理解・協力を得て積極支援。当時の駐日特命全權大使が自国語教材と絵本を無償供与下さいました。

インド・インドネシア・トルコ

・南アフリカと共に対外債務の大きさが理由で最近では「脆弱な5通貨」と評されるブラジルには言わすもがな、貧困に留まらぬ数多くの不条理が存在します。が、それは昨今の日本、欧米にとっても遠い対岸の現象には非ず。

パリ出身の写真家ジェイアールが全世界で展開のインサイドアウト・プロジェクトに自分も参加すべく昨新春、外荒西通り沿いのワタリウムに長蛇の列が出来たのも「未来世紀ブラジル」化が着々と肅々と進行する救いようなき社会を、でも、ほんの少しでも変えてはみたいじゃないか、との人々の想いの発露でしょう。

つるつるでびかびかな超高層ビルの城下町に登場の「リオグランデグリル」は、サンバのミニショーを眺めながら各種シュラスコを座席で切り分けて貰える2時間食べ放題の新星。帆立や海老、黒毛和牛ランプ等の新機軸シュラスコに加えてサラダバーも充実。二人連れでも家族連れでも職場集団でも堪能可能な時空。

「世界はアードで変わっていく」とリオデジャネイロのスラム街フアベラも写真で覆い尽くし、犯罪率の低下に寄与したJRIIジェイアールならずとも、芭蕉の「おもしろうてやがてかたしき」ならぬ「さらにおもしろき」伯刺西爾の陽気な前向きさに、刺激と元気を与えられるでしょう。